

第392回 長野放送番組審議会

1. 開催年月日 平成20年6月4日(水) 午前10:30より

2. 開催場所 長野市岡田町131-7

株式会社長野放送会議室

3. 委員の出席

○委員総数 10名

○出席委員数 9名

○出席委員の氏名(敬称略・委員は50音順)

委員長 宮本忠長

副委員長 中村重一

副委員長 松田幸子

委員 大橋俊夫

委員 小出貞之

委員 塚田芳樹

委員 中島道生

委員 中條智子

委員 丸山仁也

○欠席委員の氏名

委員 小松正俊

4. 放送事業者側出席者

相崎由松(代表取締役社長)

堀真一(専務取締役・報道局制作局担当)

関義仁(取締役編成局・番組審議会担当兼編成局長)

飯島憲彦(編成局編成部長兼視聴者室長)

春原晴久(制作局制作部長)

山口慶吾(番組審議会事務局長)

5. 議題

NBS月曜スペシャル

「戦後は終らない～硫黄島・日米元兵士たちの証言～」

5月26日(月)午後7:00～7:54放送

6. 番組の内容

太平洋戦争最大の激戦地で日本軍が壊滅した硫黄島の戦闘の実態を、奇跡的に生還した日本兵のほかアメリカの元兵士のインタビューを絡めて、日米双方の視点から描くとともに、いまなお戦争の傷跡を消すことのでかない生存者の心に迫ったドキュメンタリー。

7. 審議の概要

- ・ 兵士の証言と実写映像を織り込んで、凄惨な死闘の状況が生々しく伝わった。
- ・ 戦争を体験者が語る最後のタイミングとも言える中で、後世に残すべき貴重な記録となった。
- ・ 命の大切さや、戦争は絶対にやってはならないというメッセージが伝わった。
- ・ 抑制の効いた丁寧な作り方が、兵士の証言の重みを浮き立たせていた。
- ・ なぜ、アメリカが硫黄島をあそこまで求めたのか、硫黄島が死闘の舞台とならなければならなかったのかという説明が欲しかった。